



エコ・ファーストの約束



J. FRONT RETAILING

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

J. フロント リテイリング株式会社
代表執行役社長 小野 圭一

J. フロント リテイリンググループは、よりよい地球環境を次世代へつなぐため、以下の取り組みを進め、ステークホルダーの皆様の Well-Being Life (心身ともに豊かなくらし) を実現します。

1. バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量削減

- 2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量ネットゼロの実現を目指します。(2023年 SBTi「ネットゼロ目標」認定取得)
- 2030年までに2017年度比で Scope1・2 温室効果ガス排出量 60%削減します。(2021年 SBTi「1.5°C目標」認定取得)
- 2030年までに2017年度比で Scope3 温室効果ガス排出量 40%削減を目指します。(2021年 SBTi「1.5°C目標」認定取得)
- 2050年 再エネ比率 100%の実現に向け、2030年 再エネ比率 60%を目指します。(2020年 RE100 加盟)
- TCFD 提言に賛同し、TCFD 提言を気候変動対応の適切さを検証するガイドラインとして活用するとともに、機関投資家等との積極的な対話を実現し、適時適切な情報開示を行っていきます。

<具体的な取り組み>

- ・2050年ネットゼロ移行計画の策定
- ・店舗における積極的な再エネ切り替え拡大
- ・再エネ調達手法の分散化による再エネ調達リスクの低減
- ・高効率省エネ機器への適切なタイミングでの更新や照明のLED化、社用車のEV化
- ・お取引先様を対象とした「脱炭素社会の実現に向けた説明会」の実施

2. サーキュラー・エコノミーの推進

- 2030年、廃棄物排出量 50%削減 (2019年度比) を目指します。
- 大丸松坂屋百貨店の店頭において、お客様の不要な衣料品や靴、バッグなどを回収し、新たな素材や製品に再資源化・再利用化する取り組み「エコフ」による回収量 2030年 3,000 t[※]を目指します。

※スタート時の2016年からの累積回収量

- お取引先様やお客様と共に、使用済み製品のリサイクルや再製品化など、限りある資源の循環に取り組みます。
- お取引先様との協働により、シェアリングやアップサイクル等サーキュラー型ビジネスの展開拡大を目指します。
- JFRグループの従業員は、オフィスにおけるペーパーレス化、ごみの分別を徹底し、廃棄物削減に取り組みます。

<具体的な取り組み>

- ・環境に配慮したファッションサブスクリプション事業「アナザーアドレス」
- ・食廃油から国産 SAF の製造を目指す「Fry to Fly Project」参画
- ・プラスチック製カバーの回収・リサイクルを行う「POOL プロジェクト」参画
- ・ギフトカタログの回収・リサイクル

3. 環境と共に生きるくらしの提案

- 環境に配慮した商品やサービスを拡充すると共に、お客様の環境に対する意識を高める活動に取り組みます。
- 従業員一人ひとりについても、環境に考慮した事業活動を実践できるよう、定期的かつ継続的な社内研修、社内ポータルに設けたサステナビリティサイトや社内 SNS での積極的な情報発信を行います。
- 新規開発物件における、環境認証*取得率 100%を目指します。

※CASBEE、LEED、DBJ Green Building 認証、および BELS・ZEB などの認証

- グリーンビルディングを資金使途に含むサステナビリティボンドを発行し、環境改善効果についてレポートします。

<具体的な取り組み>

- ・有機 JAS や海のエコラベル MSC 認証など認証商品の販売
- ・大丸心斎橋店屋上での都市養蜂活動と採蜜したはちみつの製品化
- ・子どもたちと SDGs について学ぶワークショップの開催



くらしの「あたらしい幸せ」を**発**明する。



J. フロントリテイリンググループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告、ならびに定期的にレポートなどによる公表を行ってまいります。

